



うすい孝彦

1. 社口原や町農業の振興をどう進めるのか

1) 社口原（滝沢）での農業振興策は

【質問1】町農業振興の中間答申で社口原でブドウ・モモの栽培を計画している。両者の栽培ではネオニコチノイド系農薬が使われる。同農薬が地下水に混入した場合、社口原下流の坂下地区の地下水利用者に影響を及ぼす可能性がある。町は該当住民に説明し対応を協議すべきでは。

《回答》該当住民には説明する。水道への切り替えを望む場合には費用は町が持つことになっている。

【質問2】来年度、社口原で農薬を使わない「ガーデンハックルベリー」の試験栽培やオーガニックな観光ガーデン的なことを考えて欲しいが。

《回答》社口原は作物を作るのに大変な所である。試験栽培を行い、社口原での適性をみたい。

2) 農業法人への取り組みは

【質問1】令和5年度に農業法人を立ち上げ、水稻(100ha)、ブドウ、モモ、リンゴ、アスパラ、玉ねぎを生産するとしているが、農地確保、法人の人材・資金の見通しは。法人立ち上げは状況をみては。

《回答》法人の農地・人材・資金の確保に向け支援していく。法人立ち上げ再検討の考えはない。

【質問2】法人が町に債務保証や損失補償を求めてきた時、町はどのように対応するか。

《回答》法人の形が見えてきた段階で協議し、調整を図る。



農業継続が課題の社口原（滝沢）

2. 会染西部ほ場非農用地整備計画の進め方は

【質問】計画案を議会と町民に説明、意見を聴いてから予算案を議会に上程すべきでは。また、財政状況を考え住民要望をとり入れた必要最低限の費用で実施すべきと考えるが。

《回答》計画概要ができたなら議会と町民に説明し予算案を上程する。事業費の抑制は当然のこととし検討する。

3. 自治会未加入者対策に町の支援を

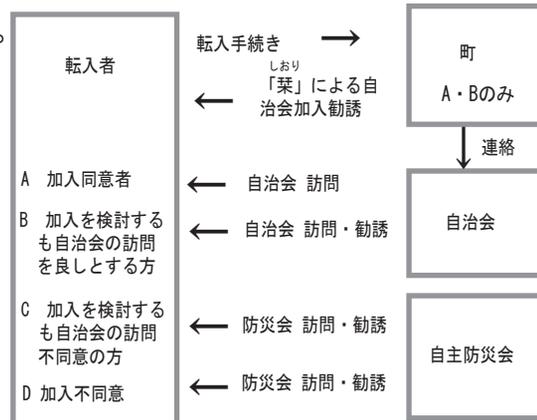
しおり

【質問1】自治会未加入者・脱会者対策として自治会活動の「栞」と「自治会活動の手引き」を来年度策定し活用を。

《回答》両方とも来年度策定し支援する。

【質問2】自治会加入者への優遇策の検討を（例：越谷市自治会の商店街優待カード）。

《回答》研究したい。注：越谷市の自治会は市の補助金を利用し、自治会員には地元商店の各種サービスを受けられる優待カードを発行している。



転入された方への自治会勧誘システム(案)

一般質問



服部久子

1. 3歳未満児の保育料の軽減を

【質問1】3歳以上の保育料は無料になったが、3歳未満児の保育料は高額のままである。3歳未満児の保育人数は年々増えている。3歳未満児保育は特別な保育でなく、保育料減免から外される対象ではないと考える。町の考えは。

《回答》3歳から5歳の保育料無料化は国の少子化対策で令和元年10月から実施している。当町も国の政策を基本としており、町独自の減免は考えていない。

【質問2】池田町の保育料は3階層で年額20万4千円、4階層で29万4千円である。松川村の3階層の保育料は池田町の半額であり、4階層は池田町より7千円安い。生坂村の保育料は池田町に比べ、3階層で3千6百円、4階層で6千8百円安い。3階層・4階層の保育料の軽減を求める。

《回答（町長）》軽減の考えはない。

【質問3】3歳未満児保育人数は39人でそのうち1階層から4階層までが26人となっている。低所得世帯ほど3歳未満児保育を利用している。共働きで家計を支えている現状がある。重ねて軽減を求めるが。

《回答（町長）》軽減の予定はない。

2. 就学前児童の医療費完全無料化を

【質問1】県の子どもの医療費無料化の補助が約160万円増額された。増加分を活用して未就学児を対象に個人負担金（レセプト料）500円の無償を求めるが。

《回答（町長）》無料化は考えていない。

【質問2】県の補助増額分を活用しないことに納得がいかない。せめて就学前の子どもの医療費無料化に活用すべきではないか。

《回答（町長）》無料化の考えはない。



3. 高校生通学費助成の実施を

【質問】高校生通学費は、明科～松本間は年間約6万円。松川～松本間は約5万円となっている。松川村は今まで1万円補助を出していたが、来年度から2万円に増額する。生坂村もバス代半額の補助をしている。白馬村、小谷村もそれぞれ補助を出している。池田町も保護者負担軽減のために、高校生の通学費助成を求めるが。

《回答（町長）》実施は考えていない。

4. 病児保育の将来の方針は

【質問】市立大町病院で病児保育が実施されているが、松本方面、大町方面に勤めがある方は、病児を大町病院まで預けることに抵抗があると言われている。病児保育の充実は、女性の社会進出にも不可欠である。町は、病児保育は1か所で良いと考えているか。また、北アルプス広域連合でどのような検討がされているのか。

《回答（町長）》周知が進み徐々に実績が上がっている。正副連合長会でしばらく要望を見極め、考えていく。